

新役場庁舎建設実施設計のQ & A⑤

《その他》

Q29～行政機関の敷地内は全面禁煙だとは思いますが、喫煙所の問題はどうなっているか？

A29～法律に基づいた対応とします。

Q30～役場庁舎の誘導サイン（案内板）も景観に配慮した美しい村のイメージが伝わる工夫を？

A30～他の公共施設のサインも同様の考え方があるので、中札内村にマッチしたものを検討します。

Q31～新庁舎建設後、村民見学会を行う予定は？

A31～共用開始前に村民の皆様にお披露目する機会を設ける予定です。

Q32～今回の説明会に参加していない住民へどのように周知・説明するのか。

A32～今回のホームページでのお知らせに加え、広報9月号にも掲載します。

Q33～人口が減少する中、新しい庁舎は必要か。現庁舎の改修でもよいのではないか。

A33～新庁舎の建設理由は、地球温暖化などにより災害が激甚化していることを受け、庁舎が防災拠点としてしっかり機能することにあります。移転先は浸水区域となっていないことが新築する大きな理由です。また、道東沖に存在する千島海溝はマグニチュード9クラス（東日本大震災と同規模）の超巨大地震の発生サイクルに入っているとの指摘もあり、防災対策の強化は待ったなしの状況です。「想定外だった」「こんな災害になるとは」という後悔をしないよう、可能な限りの強靱化への取り組みを進めねばならないと考えます。